

滝川小学校

所在地 〒530-0043 北区天満1-24-15
 電話番号 06-6351-1582
 校長名 原 宏次
 U R L <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e511000>



教育目標

自ら考え判断し、心豊かに生き抜く子どもを育てる。

【めざす子ども像】

- ① 確かな学力(知)
- ② 気持ちの優しさ(徳)
- ③ ガッツな心と体(体)
- ④ わかろうとする意欲(意欲)

沿革

明治 5年 8月 北大組4区小学校として、旧滝川町(滝川公園北側)に開校
 明治26年 4月 大阪市立滝川尋常小学校と改称
 明治44年 11月 現在地(川崎東照宮跡)に移転
 大正14年 4月 大阪市立滝川尋常高等小学校と改称
 昭和22年 4月 大阪市立滝川小学校と改称
 昭和41年 1月 学校給食優良校 文部大臣表彰
 4月 文部省指定道徳教育研究学校
 創立100周年記念式典挙行
 昭和47年 11月 創立100周年記念式典挙行
 平成 2年 10月 全国小学校理科研究大会 授業公開
 平成 5年 11月 生活科全国大会 大阪大会 地域・環境科中間発表
 平成 6年 12月 文部省教育課程研究開発指定校 地域・環境科研究発表
 平成13年 10月 文部科学省体育・スポーツ推進校 2年次研究発表
 平成15年 10月 近畿小学校社会科研究大会 授業公開
 平成18年 11月 「個性が輝く学校づくり推進事業」研究校 授業公開 研究発表
 平成27年 12月 大阪市教育委員会「学校教育ICT活用モデル校」指定
 平成29年 1月 日本教育工学会認定「学校情報化優良校」
 平成29年 9月 文部科学省指定「次世代学校支援モデル構築事業」実証校
 総務省指定「スマートスクールプラットフォーム実証事業」実証校
 平成30年 2月 大阪市小学校教育研究会総合研究発表会 理科部
 会場校授業公開
 令和元年 4月 大阪市教育委員会指定「学校教育ICT活用事業」拠点校
 令和元年 6月 総務大臣政務官視察

学校運営に関する計画

- 【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校・家庭・地域)の実現】**
 ○年度末の校内調査(いじめについてのアンケート)において、学校で認知したいじめについて解消した割合を97%以上にする。
 ○今年度の小学校学力経年調査における「学校のさまじり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を97%以上にする。
 ○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を0件にする。
 ○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を0にする。
 ○学校生活アンケート「正しい言葉づかいをするようにしている」に対して肯定的回答をする割合を児童の90%、保護者85%以上にする。
- 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**
 ○今年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるように標準化した得点のこと)
 ○今年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。
 ○今年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より増加させる。
 ○今年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
 ○今年度末の体力テストにおいて、反復横とびで平均の記録を、男女共に年度当初より向上させる。
 ○学校生活アンケート「ICTを使うことで勉強の内容が分かるようになった」に対して、肯定的回答をする割合を児童・保護者ともに前年度より向上させ75%以上にする。

【※詳細は学校ホームページをご覧ください】



令和元年度全国学力・学習状況調査の結果

国語	算数	平均正答率(%)
67	74	

■結果の概要と今後の方策

【国語】今年度も「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について正答率は全国平均を上回った。各領域で「大阪市」「全国」よりも高い数値を示した。

【算数】今年度も「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」について正答率は全国平均を上回った。「図形」の領域では、全国平均を10パーセント以上上回った。

＜今後の方策＞

- 言語力や論理的思考能力の育成…ICT機器を効果的に活用しながら、論理的思考能力育成のための手立てを授業の中に継続して盛り込ませると共に、全教育活動の中で言語活動を活性化させ、総合的な表現力の育成を図る。
- 習熟度別少人数指導では国語・算数ともに自分の考えを意欲的に表現し、互いが話し合い活動のなかで考えを高めていくような協働的な学習を重点的目標として計画的に取り組む。
- 教員の授業力向上…ICT機器を効果的に活用をめざした授業実践を研究の中心と捉え、すべての児童がわかる授業の構築を目指して研究授業を行い、各種研修会へ積極的に参加する。

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

	握力(kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(m)	反復横とび(回)	20mシャトルラン(回)	50m走(秒)	立ち幅とび(m)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
男子	16.70	20.26	36.91	44.78	50.09	9.42	154.78	20.35	55.43
女子	15.44	19.61	43.67	44.11	43.22	9.28	155.00	14.22	59.22

(種目別平均値)

■結果の概要と今後の方策

男子では「20mシャトルラン」と「ソフトボール投げ」以外全てで、全国平均を上回った。特に「長座体前屈」「反復横とび」で、大きな成果が見られた。運動の特性に置き換えてみると「体の柔らかさ」「すばやさ」では成果が見られ、「力強さ」「ねばり強さ」をさらに伸ばすことで、よりバランスのとれた成長を促すことができる。特に大阪市・全国との平均との開きが大きい調査項目はなくなってきた。女子では「握力」以外の調査で、全国平均を上回るという結果になった。男女とも「50m走」については、一時的に走力・体力面が落ちている。北校舎工事に伴い、運動場が使えなくなり走る機会が減ったためである。冬季頃校舎を移転し運動場がもとに戻れば走る機会も増える。

走ろう会(大川沿い)での練習や講堂での体育器具を使った運動など、限られた条件で運動できるように工夫している。また、水泳など各種大会や記録会に参加してきたが、学年・学校の取り組みとして、集団で互いを励まし合いながら取り組んできたことが、大きな力となっている。今後も、運動や体を動かすことの楽しさや喜びを味わわせ、「運動好き」の児童の育成を目指す。

標準服

- 名札(記章つき)は校内のみで着用。
- 靴下は白を基調とし、紺や黒の単色可。



特色ある学校園づくりをめざして

○ICT活用



タブレット端末



大型ディスプレイ



デジタル教科書



デジタルドリルタイム



英語タイム



道徳研究



全国からの視察



こころの天気



情報モラル教育



学校保健委員会



全校オリエンテーリング



地域活動



○ふれあい班活動
滝川ふれあいカーニバル



全校オリエンテーリング



○地域活動
弁当ボランティア



○幼小交流
ガッツ交流



スマイルタイム(園庭交流)



○体育行事
走ろう会

滝川小学校

堀川小学校

中津小学校

大淀小学校

豊崎本庄小学校

豊崎小学校

豊崎東小学校

豊仁小学校

西天満小学校

菅北小学校

扇町小学校